

徳島県美馬市

体験内容（受入レポートから）

カヤック体験及び教室補助
阿波踊り見学、体験
産直市手伝い
穴吹川筏下り大会への出場
林業体験(間伐作業等)
農業体験(野菜収穫等)
炭焼き、そば打ち体験
各種交流会への参加

報告者

市町村 : 花岡 正昭（ふるさと振興課）
体験調査員：小栗亜也奈（立教大学）
布戸百合子（立教大学）

平成21年度 若者の地方体験交流支援事業

徳島県美馬市受入レポート



担当：美馬市役所ふるさと振興課 花岡 正昭

受入期間	平成21年7月29日(水)～8月14日(金)	17日間
体験調査員	布戸 百合子 立教大学 観光学部	3年
	小栗 亜也奈 立教大学 観光学部	3年

美馬市の概要

美馬市は、人口33,459人(平成21年8月1日現在)で、2005年3月1日に美馬郡内の脇町、美馬町、穴吹町、木屋平村が合併してできた、豊かな自然と数多くの文化財が残る歴史情緒あふれるまちです。徳島県の西部(県都徳島市から40km)に位置し、西側が三好市、美馬郡つるぎ町と、北側が阿讃山脈の山頂で香川県と、東側が阿波市、吉野川市、名西郡神山町と、南側は那賀郡那賀町と接しています。



市のほぼ中央を東西に四国三郎「吉野川」が流れ、穴吹川など幾多の川が吉野川に流れ込み、その沿岸の平野部が主な可住地となっています。北側の阿讃山脈、南側の剣山をはじめ、ほとんどが山地で、総面積の約8割が森林となっており、清らかな水と豊かな緑に囲まれた自然の美しい地域です。

受入の目的とねらい

美馬市は四国のまほろば・誰もが住みたくなるまちづくりを目指しています。しかし、住み慣れた環境・日々の生活の中においては、自然豊かで素晴らしい生活環境であることを忘れがちです。都市部に住む若者が、今回の地域住民・自然とのふれあい、体験交流を通して感じたことを提言いただき、美馬市のまちづくり・活性化に役立てる事ができればと考えています。また、今回の出会いを通じて、我が美馬市を第二の故郷と感じて頂けたら幸いです。

受入の内容

- ・ カヤック体験及び教室補助
- ・ 阿波踊り見学、体験
- ・ 産直市お手伝い
- ・ ツリーハウス見学
- ・ 各種交流会
- ・ 穴吹川筏下り大会への出場
- ・ 間伐作業等の林業体験
- ・ 野菜収穫等の農業体験
- ・ 炭焼き、そば打ち体験
- ・ 市内及び近隣の観光地等への視察
- ・ 市内各所での民泊

スケジュール

日付	時間	体験内容	実施場所
7月29日(水)	午後	来庁・市長訪問・あいさつ・打ち合わせ	市役所
	19:00	歓迎会	市内
7月30日(木)	9:00	観光農園補助	市内
	10:00	市内視察(観光施設・史跡・うだつ・穴吹川)	市内
7月31日(金)	終日	カヤック体験	吉野川
8月1日(土)	午前	穴吹川筏下り大会筏搬入	穴吹川
	午後	サッカーホームタウンゲーム受付手伝い	鳴門市
	18:30	サッカー観戦	鳴門市
8月2日(日)	10:00	穴吹川筏下り大会出場	穴吹川
	15:00	美馬市青年団交流会	穴吹川
	19:00	AMEMBO 交流会	四国三郎
8月3日(月)	午前	カヤック体験	吉野川
	午後	AMEMBO 運営会議参加	事務所
8月4日(火)	午前	木屋平地域視察・林業体験	木屋平
	午後	剣山登頂	剣山
8月5日(水)	午前	SEGC 環境の森視察	木屋平
	午後	寺町・うだつの町並み見学(ガイド付き)	美馬・脇町
8月6日(木)	終日	徳島県三好市観光	三好市
8月7日(金)	10:00	農業体験	野田ノ井地区
	16:00	地域視察	野田ノ井地区
8月8日(土)	午前	産直市手伝い	野田ノ井地区
	午後	炭焼き体験・そばうち体験	野田ノ井地区
8月9日(日)	午前	休息	美馬
	午後	AMEMBO 手伝い カレー作り	四国三郎
	18:30	阿波踊り体験	四国三郎
8月10日(月)	終日	流しそうめん、竹細工制作	四国三郎
8月11日(火)	終日	ツリーハウス制作見学	美馬
8月12日(水)	10:00	報告書作成	市役所
	17:00	徳島市内阿波踊り見学	徳島市
8月13日(木)	9:00	報告書作成	市役所
	15:00	報告会	市役所
	18:00	送別会	市内
8月14日(金)	9:00	市長訪問、あいさつ	市役所
	10:00	美馬市出発	

活動内容の紹介

筏下り大会出場・カヤック体験



「第23回穴吹川筏下り大会」に選手として出場をしました。四国一の清流を船でなくカヤックでもなく筏で満喫しました。クルー全員で力を合わせて完走。



カヤックは、日本三大暴れ川の一つであり、四国三郎の異名を持つ「吉野川」で体験を行いました。難しいようで、コツをつかむと簡単に操ることができ、体験調査員もカヤック教室のサポートをしたりして、川を身近に感じていま

した。

農林業体験



間伐の必要性を確認



収穫・植え



各地域視察・見学



報告会・交流会



受入に対する苦勞・留意した点

今年度2年目ということで、まず第一に昨年度と同じことをするのではなく、昨年度以上のものにしたいと考えました。

しかし、今年度予定していたイベントが急遽中止になったことにより、受入期間の変更を余儀なくされました。このことにより、体験調査員決定から受入開始までの期間がほとんど無くなってしまい、とまどいました。しかし、昨年度もお手伝いいただいた実行委員の積極的なサポートによって、無事受入準備ができました。そして、お客さんとしてではなく、地域の一員として捉え共に行動し、考えられるようにということを心がけました。

受入に対する評価・成果

限られた時間の中で、準備を行い受入を開始したことで、お互いに準備不足という点が多少あり、その中でスケジュール的に短期間であったにも関わらずメニューを詰め込みすぎたという反省点がありました。しかし、体験調査員と共に事業の推進は図られたと思います。

詳細については、まず受入側である実際に体験調査員と触れ合った市民からは、「若い感覚を持った人と共に様々な取り組みをすることで、地域の「良い点」「悪い点」の再発見ができた」という感想もいただいています。これは、普段の生活の中では感じられないものだと思います。

また、受入を行った自治体としても、事業を通して地域の人との更なる連携も図ることができ、また報告会で提言いただいた点についても、真摯に受け止めこれからのまちづくりの改善点として、取り組んで行くことができたと考えています。

体験調査員については、本当に驚くような「田舎」だったと思いますが、しかしそこには「人」が住み、多種多様な形で生活しているということを少しは肌で感じてもらえたと思います。短期間ではありましたが、本当に様々な事を体験し、学んでいただけたのではないかと考えています。

全体的に、この事業を通じて体験調査員とともに活動し、考え・交流し、楽しめたことにより少なからず地域の一時的な活性化は図れたと考えます。やはり、何をするにしても「人」がいなくてできない中で、地域・年齢・習慣を越えて一時的ではあるが同じ美馬に住むものとしての繋がりが生まれたことが一番の成果だと考えています。

今後の期待・展望

今回の事業はきっかけの一つだと思います。このきっかけをどう活かしていくかということが一番大切です。昨年度の提言について本当に検証できたかということ、施策への反映や行政運営への活用等が不足していたと思います。今回の提言も含めて、「四国のまほろば美馬市」を目指し、市民と共に誰もが住みやすいまちづくりを進めていきたいと思っています。

また、昨年度2人、今年度2人の「美馬市サポーター」ができたと思っています。4人のサポーターは、普段の生活において人と人との繋がりの中から美馬市を発信し続けてもらえると思っています。

そして、このきっかけをもとに、誰もが住みたくなるまちづくりを継続し、短期間ではなく定住したいという若者が出てくることを期待します。

平成21年度 国土交通省 若者の地方体験交流支援事業
地域づくりインターン 体験調査レポート

立教大学交流文化学科3年 小栗亜也奈
派遣地域：徳島県美馬市
派遣期間：7月29日～8月14日



1. 美馬市概要

2005年に脇町・美馬町・穴吹町・木屋平村が合併してできた。

基本情報

- ・人口：33459人（平成21年8月1日現在）
- ・面積：367.38km²
- ・将来像：四国のまほろば美馬市～誰もが住みたくなるまちを目指して～
*「まほろば」とはすばらしいところ、住みよいところを表す古語。
- ・気候：瀬戸内型気候であり、年間を通じて比較的温暖。

2. 体験内容

- ・市内視察
- ・カヤック体験
- ・ツリーハウス制作
- ・筏下り大会への参加
- ・農業体験
- ・林業体験
- ・阿波踊り体験
- ・サッカー観戦（地元チームの応援）
- ・産直市手伝い



3. スケジュール

日付	体験内容	宿泊先
7月 29日（水）	美馬市到着後、美馬市長に着任挨拶 歓迎会	藤川邸

30日(木)	市内視察	藤川邸
31日(金)	AMEMBOにてカヤック手伝い カヤック体験	藤川邸
8月 1日(土)	筏搬入手伝い 四国ダービー(サッカー観戦)	浪越邸
2日(日)	筏下り大会参加 青年団交流会 BBQ	四国三郎の郷
3日(月)	カヤック体験	浪越邸
4日(火)	木屋平地区視察 林業体験、剣山登山	平成荘
5日(水)	SGEC 環境配慮の森視察 寺町周辺、うだつの町並み散策	武内邸
6日(木)	休日	小笠邸
7日(金)	野田ノ井地区にて農業体験	梶浦邸
8日(土)	産直市手伝い 炭焼き体験、そば打ち体験	松本邸
9日(日)	AMEMBO 手伝い(カレーライス作り) 阿波踊り体験	藤川邸
10日(月)	AMEMBO 手伝い(流しそうめん) 竹とんぼ作り	高本邸
11日(火)	休日	高田邸
12日(水)	報告書作成 阿波踊り(徳島市)	藤川邸
13日(木)	報告会 送別会	藤川邸
14日(金)	帰宅	

4、体験内容

1. カヤック体験

吉野川でのカヤック体験。
とても難しそうにみえましたが、
意外とすぐに乗れるようになりました。



筏下り大会

穴吹川での筏下り大会。青年団の方と
一緒に参加させてもらいました。結果
は31位でしたが特別賞を頂きました。



農業体験

ピーマンの収穫とレタスの苗の植え替え
をさせていただきました。ほんの少ししか
手伝っていないのにすごく大変で、普段何気
なく食べている野菜がこうした農家の人た
ちの苦勞でできていることがわかりました。



林業体験

木屋平地区で林業体験をしました。
実際にチェーンソーで木を切ったり
重機にのせていただいたり、間伐を
行うことで森を守っているというこ
とを初めて知りました。



阿波踊り

美馬市での阿波踊り体験に加え、徳島市で
の阿波踊りにも連れて行っていただきました。
様々な連があって非常におもしろかつ
たです。とても小さな子供も踊っているの
で簡単なのかと思いきや、実際少し踊っ
てみるととても難しかったです。

5、参加動機

私は出身が名古屋で、今は関東の大学に通っています。そのため、昔から周りにあまり自然がない環境で育ってきました。そのためか、自然に対する憧れが非常に強いです。今回、この事業を知ったときに、自然がたくさんあふれている、いわゆる田舎とよばれる地域が、自然とどのように共生して地域づくりをおこなっているのか、非常に興味をもち、参加してみようと思いました。

6、地域への提案

17日間様々な体験をさせていただいて、美馬市には都会の人々が憧れるような理想の夏休みがあると感じました。そんな理想の夏休みが待っている美馬市となるために、私たちが考える改善点は以下の7点です。観光対象年齢層の拡大、宿泊施設の確保、交通手段の整備、PRにもっと力を入れる、インドアのプログラムの内容の充実、木屋平地区へのアクセスの利便化、中山間部におけるプログラムの充実です。実際に色々な体験をさせていただいて、観光の内容が元気で体力のある若者向けのものが多いと感じました。もう少し幅広い年代の人が楽しめるプログラムを作ることで、さらに観光客を誘致することができると思います。また、宿泊施設もキャンプ場や現在すすめている民泊ネットワークに加え、例えばうだつの町並みの空いている家を改築して民宿にするなど、滞在拠点となるような宿泊施設を確保することが大事だと思います。さらに、美馬市は4町村が合併していて非常に広いので、観光客にとっては移動手段が問題となります。そこで、観光ルートを作り周遊バスを作ることによって、観光しやすい環境を作ることが大事だと思います。また、PR力不足も課題だと思います。美馬市には、四国一の清流の穴吹川や、吉野川など素晴らしい自然がたくさんあるのに、あまり知られていないのが現状です。穴吹川をブランド化することができれば、非常に強みになると思います。さらに、観光のプログラムが、カヤックや川遊びなど外がメインのものが多いので、それに加えて、インドアのプログラムの内容を充実させることで、雨の日の対策にもなるのではないのでしょうか。また、木屋平地区へ向かう道は非常に狭く、今後観光客を誘致していくうえで、観光バスも入れるような道の整備など、アクセスの利便化を図ることが求められると思います。また、美馬市は川だけではなく、山もたくさんあります。その山間部でもっと様々な観光プログラムを作ることで、さらに魅力的な観光地となるのではないのでしょうか。

7、最後に

17日間、毎日毎日初めて体験することばかりで、本当に充実した日々を送ることができました。美馬市の皆様、本当にありがとうございました。今回、宿泊先が様々で、色々な方にお世話になりました。そのため、たくさんの人と出会い、話をすることができ、それがとても楽しかったです。これからもよろしく願います。

地域づくりインターンシップ体験調査員レポート

派遣地域 徳島県美馬市

派遣期間 7月29日～8月14日(17日間)

立教大学観光学部交流文化学科 3年 布戸 百合子

派遣地域の概要



美馬市は 2005 年に脇町、美馬町、穴吹町、木屋平村の三町一村が合併して出来た、徳島の北西に位置する市である。総人口は 32,459 人(2009 年 8 月)、市の中央を流れる吉野川、穴吹川をはじめとする川、剣山や竜王山などの山、木屋平地区の森林など自然に恵まれており、総面積の八割を森林が占める。また「うだつがあがる」という言葉の語源となったうだつの町並みや寺町、壇の塚穴など歴史や文化においても多彩な特色を持つ市であると言える。

気候は瀬戸内型気候に属するために比較的温暖であるが平野部と山間部は寒暖の差が激しく、山間部では涼しい気候を利用した夏季の蘭の育成なども見られた。

今もなお、四国遍路の風習「お接待」が息づいており、住民の方々は訪問者を手厚くもてなし非常に親切である。

体験内容

・ツリーハウス見学 ・カヤックや自然教室のお手伝い ・カヤック体験 ・美馬市内および近隣の観光視察 ・四国ダービー観戦 ・筏下り大会参加 ・うだつの町並み視察 ・林業体験 ・剣山登頂 ・SGEC 環境配慮の森視察・農業体験・産直市のお手伝い ・炭焼き体験 ・阿波踊り体験 ・徳島市内阿波踊りの視察・民泊での宿泊

スケジュール

	日付	午前の活動	午後の活動	宿泊先
1日目	7月29日	移動	・市長室にて着任挨拶 ・ツリーハウス見学 ・歓迎会	藤川さん宅
2日目	7月30日	美馬市内観光視察 ・ AMEMBO 観光農園・四国三郎 ・ 郡里廃寺跡・寺町・段の塚穴 ・ 脇町キャンプ場・恋人峠 ・ 寺町・うだつの町並み ・ 穴吹川		藤川さん宅
3日目	7月31日	カヤック教室手伝い	AMEMBO にて会議	藤川さん宅
4日目	8月1日	筏の搬入	四国ダービー観戦	浪越さん宅
5日目	8月2日	筏下り大会参加	青年団交流会	四国三郎の

			郷	
6日目	8月3日	カヤック体験		浪越さん宅
7日目	8月4日	林業体験	剣山登頂	平成荘
8日目	8月5日	環境配慮の森視察	寺町、壇の塚穴視察 うだつの町並み視察	武内さん宅
9日目	8月6日	三好市観光視察 ・かずら橋・秘湯温泉・祖谷そば・小便小僧		小笠さん宅
10日目	8月7日	農業体験 ・野田の井周辺視察 ・観光農業見学		梶浦さん宅
11日目	8月8日	産直市のお手伝い	炭焼き体験 そば打ち体験	松本さん宅
12日目	8月9日	資料の整理 話し合い	カレー作り 阿波踊り体験	藤川さん宅
13日目	8月10日	流しそうめんお手伝い	竹とんぼ教室お手伝い	高本さん宅
14日目	8月11日	ツリーハウス制作見学	夕食会	高田さん宅
15日目	8月12日	報告書作成	徳島市内阿波踊り視察	藤川さん宅
16日目	8月13日	打ち合わせ	活動報告	藤川さん宅
17日目	8月14日	お礼のご挨拶	帰宅	-

活動紹介

AMEBO での活動

【AMEMBO とは】



AMEMBO は美馬市地域づくりインターンの主な受け入れ先である。「元気なまちづくりを考え、参加し、全国に誇れる活動・場を創造しよう！」を合言葉に、市民が主体となり他県にはない雄大な自然を生かした美馬市の町づくりを推進することを目的に活動している。

『三代代が自然の中で、共に学び、育む場を創る事による野生化計画の推進』のために吉野川でのカヤック教室や森林でのツリーハウス作製など自然を生かした多彩なプログラムを用意、探求している。

【カヤック教室】

AMEMBO では、四国三郎として有名な吉野川でのカヤック教室が行われている。私たちは美馬市に滞在するなかで三回ほどカヤックに乗る機会をいただいた。カヤック教室では吉野川の本流だけではなく脇の小川や、岩場に行くこともできる。カヤックで上流までさかのぼる教室のなかで、外から眺めているだけでは分からない吉野川の様々な表情や魅力を、身を持って体験することができた。またカヤック教室を目的に香川や大阪など他県からの団体客も訪れており、他の県にも吉野川の魅力が知られていることが分かった。高齢者や小学生も参加し、上流までのカヤッキングを楽しんでいたのが印象的であった。

【ツリーハウス】

AMEMBO ではツリーハウスの森にツリーハウスの建設を行っている。私たちが滞在している間にも二組のグループの子供たちがツリーハウスの建設をプログラムに組んだキャンプに参加していた。子供の力だけは難しいツリーハウス建設であるが、AMEMBO の方々が子供たちの意見を取り入れ、子供たち出来る作業を作ることで子供たちも非常に楽しんでツリーハウス建設に参加していた。

右：カヤック体験



下：林業体験



木屋平地区での活動（林業体験・剣山登頂・環境配慮の森視察）

木屋平地区では林業体験と環境配慮の森の視察を行った。林業体験ではなかなか体験する機会のないチェーンソーでの間伐や重機での作業を体験させていただいた。また環境配慮の森には訪れた人が森林の大切さを楽しみながら理解できる工夫が多く凝らされていた。さらに剣山にも登頂し、美馬市の森林の豊かさをたっぷりと知ることが出来た2日間となった。

うだつの町並み見学・史跡巡り

うだつの町並みとは旧脇町が藍による商業で栄えた江戸時代から明治、大正頃の家屋の町並みであり、重要伝統的建造物地区として保存されている。430メートルにもおよび歴史的建造物が軒を連ねる様はそれだけでも壮観であるが、ボランティアガイドの方が丁寧に説明をしてくださったお蔭で、一つ一つの家の建築された目的や時代などが見えてきたことで何倍も楽しい、深みのある見学ができた。

寺町や壇の塚穴、郡里廃寺跡も市役所の方々に案内をしていただき、美馬市には古墳時代から近代に至るまで様々な歴史的財産があることがわかった。

野田ノ井地区滞在・農業体験

野田ノ井地区ではピーマンの収穫やレタスの芽の植え替えなどの農業体験と産直市のお手伝いをさせていただいた。私はレタスの芽を初めて見たのであるがとても小さく、驚き、普段は見る事のない野菜や土に触れることはとても勉強になった。都会の隅の小さな畑ではなく、空が近く心地よい山間で行う農作業は清々しかった。



左：野田ノ井で農業体験

右：うだつの町並みにて



参加動機

私は観光地として有名である横浜で生まれ育ったために今まで「観光事業というのは簡単なものだ」とどこかで思っていた。しかし大学で観光学を専門に勉強するようになり、その地域の魅力を生かし観光で成功する難しさと大切さを痛切に感じるようになった。そこで地域づくりインターンの活動内容を確認した際、地域の魅力である川などの、自然を生かした活動内容が多い美馬市に興味を抱き、希望させていただいた。

体験の成果

今回の発表で私たちは大きな提案を一つ、その提案を更に分けた細かな提案を7つした。それらが美馬の方々にとって全く新しい視点からの意見となったとは思えず、悔しさと反省が残る結果となってしまったことを非常に残念に思う。しかし発表の場に集まった様々な団体の方がお互いの補うべき点や長所に気付くことやそれを共有する機会になった点はよかったと思う。

提案

大きな提案：地域で一貫したコンセプトの設定

私たちの考えたコンセプトの例：「理想の夏休みが待っている美馬市」

私が美馬市で過ごす中で強く感じたことは、美馬市には、もし親戚がいるといった条件がなければ体験できないが、私たちが心の中で憧れる田舎の夏休みの要素が全て詰まっているという点である。ゲーム「ぼくのなつやすみ」や映画「サマーウォーズ」の舞台のような田舎の夏休みは都会に住む人々の憧れの対象である。美馬市には山、森、川、キャンプ場などレジャーを楽しむ場所が多くあり、吉野川や清流穴吹川は特に優れた資源である。さらに自然だけではなく、民泊システムによって「田舎のおじいちゃんおばあちゃんの家像」そのままの大きく、伝統的な家に泊まることができ、憧れの夏休みの要素を全て体験することが出来る。

さらにそれらの要素を美馬市に訪れる観光客がくまなく楽しめるように提案した細かな提案が、1.対象年齢層の拡大 2.宿泊施設の確保 3.交通手段の整備 4.PRの強化 5.インドアのプログラムの強化 6.木屋平地区へのアクセス利便化 7.中山間部におけるプログラムの充実の7点である。これらは現在の美馬市にはアウトドアや民泊など、若くアクティブな層の観光客に向けたプログラムや宿はあるものの、お年寄りや小さな子ども、その母親に向けたプログラムや宿、雨天時の対策などが十分ではないために家族みんなで訪れることが難しいのではないかとこの点に起因するものが多い。

最後に

美馬市の皆様、17間本当にありがとうございました。美馬の方は皆様本当に暖かく、親切で、地方に親戚のいない私にとって美馬市は本当に第二のふるさとであると勝手に思っております。皆様に出会い、かけがえのない経験を得ることが出来たことを本当に感謝しております。ありがとうございました。また美馬に帰ってくることもあると思います。そのときはどうぞまた娘や妹のように私を迎えてやってください。

